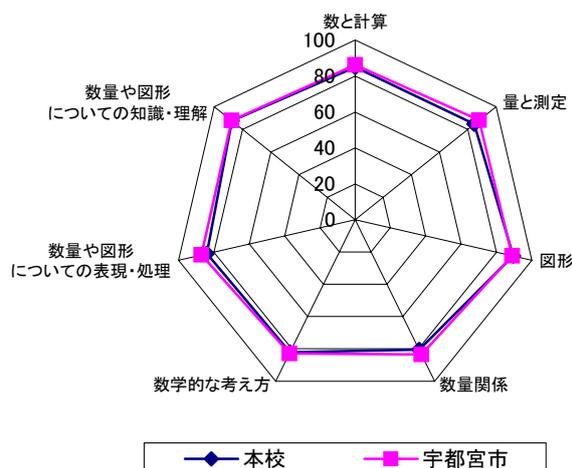


宇都宮市立宝木小学校第4学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と計算	85.0	86.2
	量と測定	84.6	88.1
	図形	89.6	88.9
	数量関係	80.5	83.5
観点別	数学的な考え方	82.1	82.8
	数量や図形についての表現・処理	83.9	87.2
	数量や図形についての知識・理解	87.6	87.7



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算 (85.0%)	・平均正答率は市とほぼ同等である。割る数が2位数の整数のわり算や繰り下がりのある小数のひき算、大きな数についての設問でのつまづきが見られた。	・今年度は、計算スキルを高めるため、時間を設定し、簡単な加減乗除の計算を数多く解かせた。今後は、単元学習の問題に多く取り組ませ定着を図る。
量と測定 (84.6%)	・平均正答率は市を3.5%下回っている。分度器を使用して角度を測るとき、読み間違えるミスが見られた。	・角度が90%よりも大きいかまたは小さいかの測定技能を高めるため、いろいろな角を測定する問題に取り組ませる。
図形 (89.6%)	・平均正答率は市とほぼ同等である。二等辺三角形の定義や正三角形、二等辺三角形の弁別の定着は90%を越えているが円と球についての理解が低い。	・円と球での、半径と直径の関係に定着がはかれていない児童がいるため、今後は半径や直径を用いて円を描いたり、測定させたりして理解させる。
数量関係 (80.5%)	・平均正答率は市よりも3%下回っている。折れ線グラフの変化を表すことよさの知識理解が十分ではないためである。	・グラフのよさに気づかせ、繰り返し指導していく必要がある。また、資料の整理においても活用場面を与え、具体的、体験的に指導する。